

総務委員会 情報連絡

令和3年11月10日

情報連絡事項	頁
1 令和3年度公益活動げんき応援事業助成金の審査結果について	2
2 アートアクセスあだち 音まち千住の縁 多国籍美術展「わたしたちはみえている～日本に暮らす海外ルーツの人々」 の開催について	4

【参考】《エリアデザイン調査特別委員会 報告事項》

※資料は、エリアデザイン調査特別委員会（政策経営部）の報告資料にあり

- 1 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 2 綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（北綾瀬ゾーン）の取組み状況について
- 3 江北エリアデザインの取組み状況について
- 4 千住エリアデザインの取組み状況について
- 5 竹の塚エリアデザインの取組み状況について
- 6 西新井・梅島エリアデザインの取組み状況について

（ 政策経営部 ）

総務委員会情報連絡

令和3年11月10日

件名	令和3年度公益活動げんき応援事業助成金の審査結果について
所管部課名	政策経営部 あだち未来支援室 協働・協創推進課
内容	<p>公益活動げんき応援事業助成金審査会は年2回開催しているが、令和3年度の審査が全て終了したため、以下のとおり報告する。</p> <p>1 公益活動げんき応援事業助成金の概要</p> <p>個人や事業者からの寄附と区の拠出金からなる協働・協創パートナー基金を活用し、区内の公共性・公益性の高い活動や地域貢献活動を支援し、公益団体の活性化と自立、発展を図ることを目的とした助成制度。</p> <p>(1) げんき応援コース</p> <p>公益活動の維持・増進および公益活動の活性化等を目的とするコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業対象経費 10万円まで ・ 助成率 10分の10 ・ 同一事業 3回まで <p>(2) ステップアップコース</p> <p>公益活動の促進および発展を図ることを通じて、自立と拡充を目的とするコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業対象経費 60万円まで ・ 助成率 1年目 10分の10 2年目 3分の2 3年目 2分の1 ・ 同一事業 3回まで <p>2 審査会実施日および採択件数</p> <p>(1) 第1回審査会 令和3年6月9日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請件数 26件 ・ 採択件数 17件 <p>(2) 第2回審査会 令和3年9月8日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請件数 17件 ・ 採択件数 15件

3 令和3年度 審査結果内訳

	審査会	申請数	採択数	交付予定額
げんき応援 コース 【上限10万円】	第1回	21件	14件	1,285,000円
	第2回	14件	13件	1,220,000円
	合計	35件	27件	2,505,000円
ステップアップ コース 【上限60万円】	第1回	5件	3件	1,800,000円
	第2回	3件	2件	1,200,000円
	合計	8件	5件	3,000,000円
合計	—	43件	32件	5,505,000円

4 採択事業一覧

別添資料のとおり

5 主な不採択理由

- ・ 事業の公共性・公益性が明確でない。
- ・ 予算の使用用途が不明瞭である。
- ・ 事業計画書と収支予算書の整合性が取れていない。

6 審査会委員 7名

非営利団体支援の専門知識を有する者、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士、東京ボランティア・市民活動センター職員、元区民評価委員、区職員 各1名

問題点
今後の方針

助成金の活用を促進するための新コースの設計について、調査・研究を進めていく。

総務委員会情報連絡

令和3年11月10日

件名	<p>アートアクセスあだち 音まち千住の縁 多国籍美術展「わたしたちはみえている～日本に暮らす海外ルーツの人々」の開催について</p>
所管部課名	<p>政策経営部 広報室 シティプロモーション課</p>
内容	<p>アートの視点で多文化共生を考えるアートプロジェクト「イミグレーション・ミュージアム・東京」の約10年間の活動の成果として、以下のとおり、多国籍美術展を開催する。</p> <p>1 日時等 12月11日（土）～26日（日） 午後1時～午後7時 ※入場無料、火曜日休み</p> <p>2 会場 北千住 BUoY（足立区千住仲町 49-11）</p> <p>3 監修/出展アーティスト 岩井成昭（美術家）</p> <p>4 内容 （1）作品展 文化の多様性や複雑さ、個々人のルーツといったテーマに向き合ってきた3名の現代アーティストの作品展 （2）公募展 海外にルーツを持つ方々の表現を紹介する作品展 （3）活動団体紹介 アートの手法を用いて多文化社会で実践する全国の活動団体のリサーチやアーカイブを紹介</p> <p>5 対話型鑑賞 区民サポーターがアートコミュニケーターとして、来場者と対話しながらの鑑賞を提供する。</p> <p>6 関連事業 エデュケーションプログラムの実施について アートによるコミュニケーションを通じて、子どもたちに文化的多様性を楽しみながら「知る体験（アウトリーチ）」と「理解を深める体験（多国籍美術展鑑賞ツアー）」を実施する。</p> <p>実施校（予定）：興本扇学園小学校、千寿桜小学校、千寿第八小学校、千寿本町小学校</p>

問 題 点 今後の方針	エデュケーションプログラムについては、今年度の実施結果を踏まえ、来年度の展開を検討する。
----------------	--